

# 取扱説明書

品番：JBC用

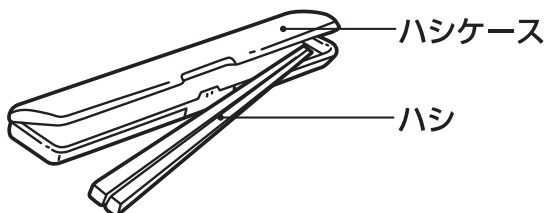
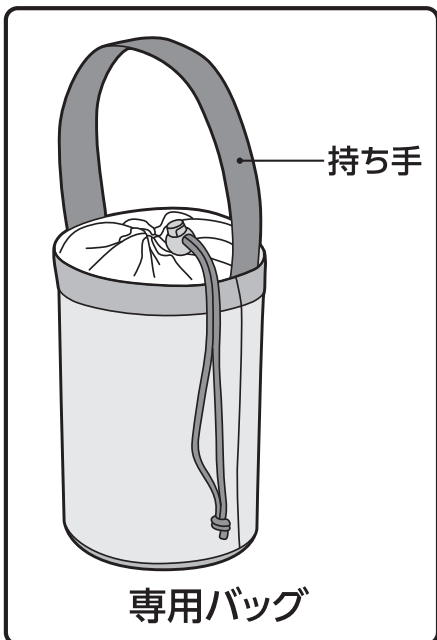
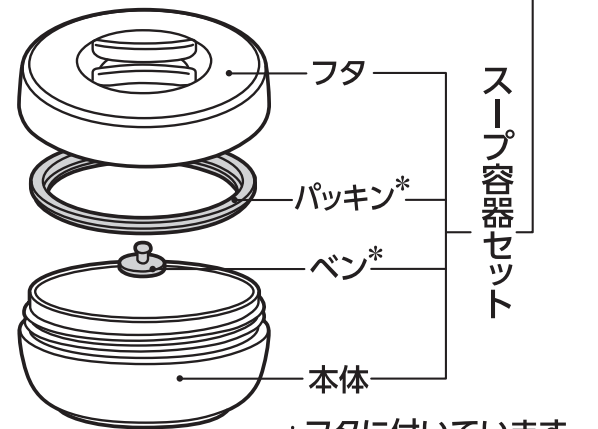
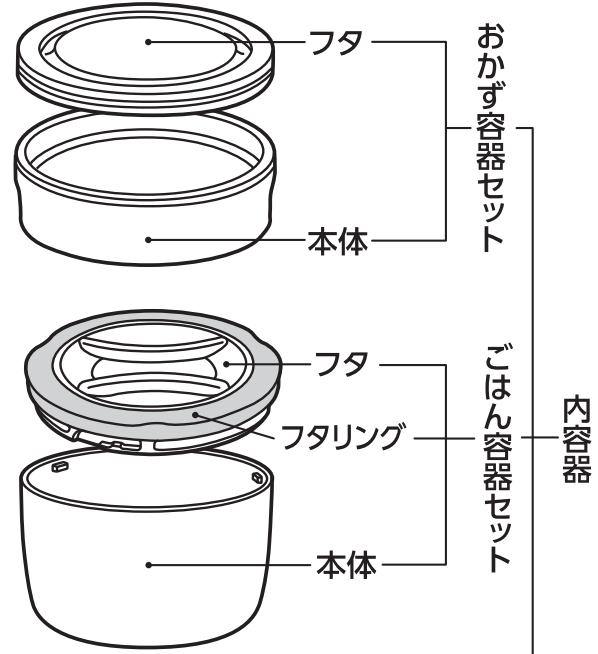
このたびはサーモス・ステンスランチジャーをお買い上げいただきありがとうございます。  
 ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
 そして、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

家庭用

《ご使用前に》

- 各部品がそろっていることを確認してください。
- 各部品を十分に洗ってください。

## 各部のなまえ



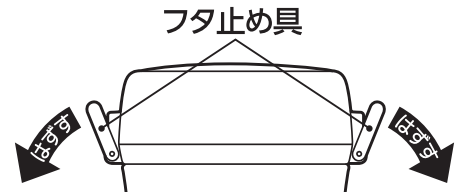
# ご使用方法

ご使用前に、内容器・ハシ・ハシケースを十分に洗ってください。

本製品は一年中ご使用いただけます。下記ご使用方法をお守りください。

## 1 内容器を取り出す

- ① 保温容器のフタ止め具をはずし、フタを取ります。
- ② 内容器を取り出します。

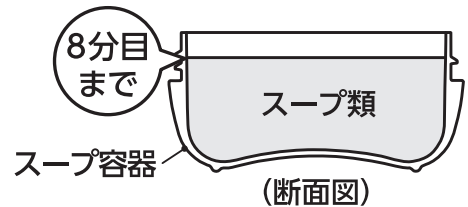


## 2 予熱をする

保温効果をより高めて、おいしくお召し上がりいただくために、あらかじめ保温容器・ごはん容器・スープ容器に熱湯を少量入れ、1分程度予熱します。  
※おかず容器は予熱しないでください。  
※予熱後はその湯を捨て、水分を拭き取ってください。

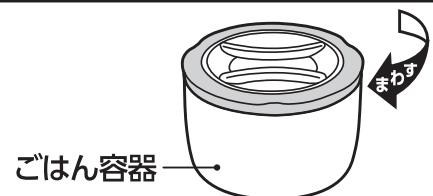
## 3 スープ容器にスープ類を入れる

- ① 熱いスープ・みそ汁を入れます。  
※入れる量は8分目までにしてください。
- ② フタを右にまわして確実に閉めます。  
※フタにベンとパッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。



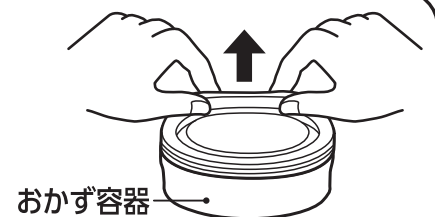
## 4 ごはん容器にごはんを入れる

- ① 熱いごはんを入れます。
- ② フタを右にまわして“カチッ”と音がするまで確実に閉めます。



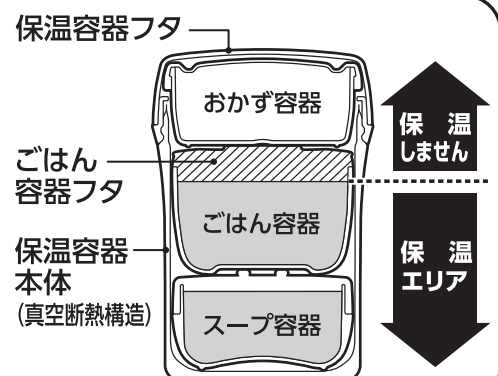
## 5 おかず容器におかずを入れる

- ① 十分に冷ましたおかずを入れます。
- ② 容器とフタのふちを合わせて、容器内の空気を押し出すようにフタ中央部を押しした後、ふちをまんべんなく押しながら伸ばすようにして確実に閉めます。



## 6 保温容器フタをする

- ① 最初にスープ容器を入れ、次にごはん容器を入れ、最後におかず容器の順番で保温容器に入れます。
- ② 保温容器フタを取り付け、フタ止め具を止めます。  
※保温容器(真空断熱構造)内では、ごはん容器フタより下の部分が**保温エリア**となっており、ごはんとはスープ類を保温します。



## ご使用方法

### 上手にお使いいただくためのアドバイス

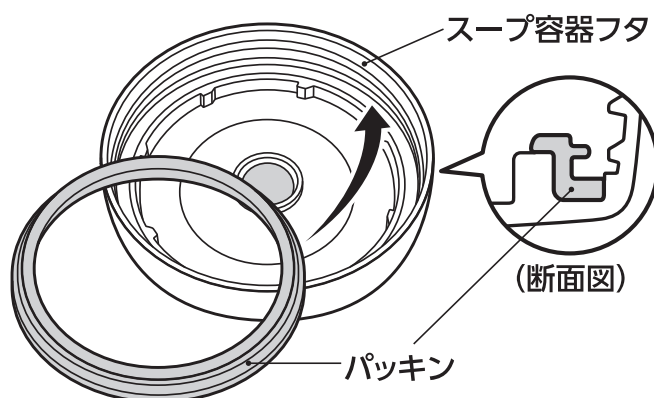
- 汁気の多いおかず (おでんやシチュー) はスープ容器に入れてください。
- 夏は冷たいめん類をどうぞ (そうめん、そば、うどんなど)。  
スープ容器に氷と濃い目のつゆ、ごはん容器に十分に冷やしためん類を入れ、おかず容器には薬味などを入れます。  
※ おかず容器に腐敗しやすい食品は入れないでください。

### パッキン・ベンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

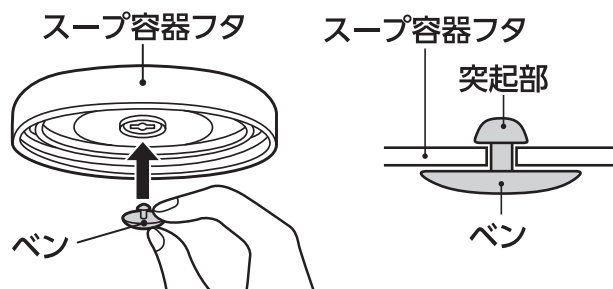
#### パッキン

図の位置に全周にわたって確実に取り付けます。取り付け後はパッキンが浮かないようにまんべんなく押し込みます。



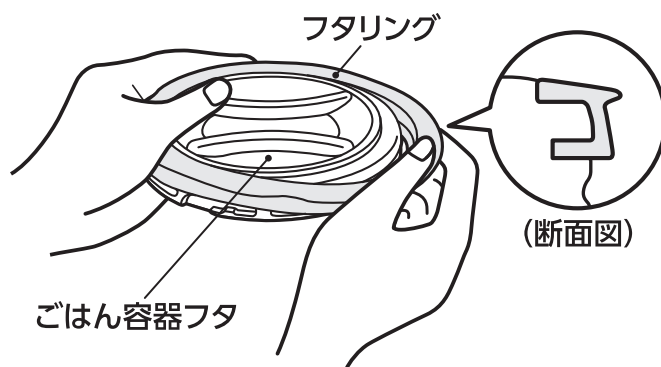
#### ベン

ベンの突起部がスープ容器フタの外側に出るよう、図のように確実に押し込みます。



### フタリングの取り付け方

上下の方向を確認し、ひっぱりながらごはん容器フタに確実に取り付けます。





# 安全上の注意



ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

## 表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

 <b>警告</b>	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 <b>注意</b>	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

 <b>禁止</b>	してはいけない内容を表しています。
 <b>必ずおこなう</b>	必ずお守りいただく内容を表しています。

## 警告

乳幼児の手の届くところには置かないでください。  
また、いたずらには十分に注意してください。


\* 小さな部品を誤飲して窒息する原因になります。  
また、やけどやけがの原因になります。



 禁止

## 注意

ランチジャーの目的以外に使用しないでください。

\* けがなどの原因になります。  禁止

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。



\* やけどの原因になります。  
また部品が変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。

 禁止

横置きにしないでください。

\* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。



 禁止

ごはん容器・おかず容器にスープ類を入れないでください。


\* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。

 禁止

各容器のフタは確実に閉めてください。【 P.2 **③④⑤**】

\* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。

 必ずおこなう

スープ容器フタは専用のパッキンとベンを正しく取り付けてください。【 P.3】

\* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。

 必ずおこなう

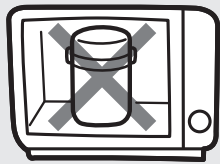
## 安全上の注意

スープ容器は不要な場合でも必ず保温容器本体に入れてください。

\* 振動などでごはん容器やおかず容器のフタがゆるみ、漏れてものを汚す原因になります。 **❗ 必ずおこなう**

保温容器は電子レンジに入れないでください。

\* 保温容器は金属製のため、スパークして電子レンジが故障する原因になります。



\* 熱により部品が変形する原因になります。

⊘ 禁止

電子レンジで各容器の食品を加熱する際は電子レンジの取扱説明書の指示に従い、次の点を必ずお守りください。

● フタは入れないでください。 **⊘ 禁止**

● 油分・糖分の多い食品は長時間加熱しないでください。 **⊘ 禁止**

● 空の状態では加熱しないでください。 **⊘ 禁止**

● オーブン・グリル機能で使用しないでください。 **⊘ 禁止**

● 他の料理でオーブン・グリル機能を使用した後は庫内が冷めてから使用してください。

**❗ 必ずおこなう**

\* 変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。

次の点を必ずお守りください。

● スープ容器には十分に加熱（沸とう）させた熱いスープ類を入れて、すぐに保温容器に入れてください。 **❗ 必ずおこなう**

● おかずは十分に冷ましてからフタをしてください。 **❗ 必ずおこなう**

● 食品はできるだけ早く（6時間以内）一度にお召し上がりください。 **❗ 必ずおこなう**

● 生もの・乳製品など腐敗しやすい食品は入れないでください。 **⊘ 禁止**

● 車の中など高温になるところには放置しないでください。 **⊘ 禁止**

● 食品は長時間保存しないでください。 **⊘ 禁止**

● 飲み残し、食べ残しは処分してください。 **❗ 必ずおこなう**

\* 腐敗した食品を食べて、体調不良の原因になります。

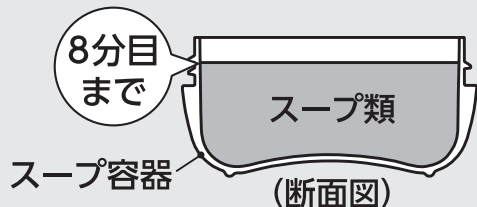
\* 腐敗や発酵などによりガスが発生して内圧が上がり、フタが開かなくなる・飛び出す、食品がふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。



## 安全上の注意

スープ容器に入れるスープ類の量は8分目までにしてください。

\* 入れすぎると、フタを閉めたときにスープ類があふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、やけどやものを汚す原因になります。



❗ 必ずおこなう

スープ類を入れた状態でスープ容器のフタが開かない場合は容器を温めないでください。

\* 内圧が上がりフタが飛び出す、スープ類がふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。フタが開かない場合は「P.9こんなときは…」の「スープ類を入れた状態でフタが開かない」に従ってフタを開けてください。

⊘ 禁止

改造・分解・修理は絶対にしないでください。

\* 故障・事故の原因になります。

(修理はお買い上げの販売店またはサーモスお客様相談室にご相談ください。)【👉P.10】

⊘ 禁止



製品には必ず専用の部品を取り付けてください。

\* 漏れてやけどやものを汚す原因になります。

❗ 必ずおこなう

落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

\* けがや漏れてやけどやものを汚す原因になります。また、保温・保冷不良の原因になります。

⊘ 禁止

煮沸は、しないでください。

\* 熱により部品が変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。

⊘ 禁止



## 使用上のお願い

保温容器に食品を直接入れないでください。

\* さびの原因になります。

ご使用条件によってはバッグが色落ち・色移りする場合があります。

匂いの強い食品や色素の濃いおかず類(ほうれん草、たくあん、シソなどの有色野菜)はラップフィルムなどに包んで入れてください。

\* 直接入れると、匂いがついたり、色素がしみ込んで変色したりする原因になります。

# お手入れ方法

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分に乾燥させてください。
- お手入れは、ぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- 汚れが落ちない場合は下表に従って台所用漂白剤(目安:30分)を使用してください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分に乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名		洗い方	お手入れ方法
おかず容器(本体・フタ) ごはん容器(本体・フタ) スープ容器(本体・フタ) ハシ・ハシケース 保温容器(フタ)		○ 食器洗淨機 ○ 食器乾燥機 ○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 漂白剤	きれいに洗い、水分を拭き取って、十分に乾燥させてください。 スープ容器フタのお手入れ後は、パッキン・ベンを正しい位置に確実に取り付けてください。
パッキン ベン フタリング		○ 食器洗淨機 ○ 食器乾燥機 ○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 漂白剤	使用后すぐにスープ容器フタ・ごはん容器フタから取りはずし、きれいに洗い、十分に乾燥させてください。
保温容器(本体)	内側	× 食器洗淨機 × 食器乾燥機 ○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 × 塩素系漂白剤	きれいに洗い、十分に乾燥させてください。 酸素系漂白剤を使用する場合はフタを取り付けしないでください。 ※本体の内圧が上がり、フタが飛び出すなど危険です。
	外側	× 食器洗淨機 × 食器乾燥機 ○ 流水洗い × つけ洗い × 漂白剤	きれいに洗い、よく振って水を切り、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分に乾燥させてください。
バッグ		手洗いのみ	水または40℃以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分に乾燥させてください。

## お手入れ上の注意 お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

●煮沸は、しないでください。

\* 熱により部品が変形して漏れてやけどやものを汚す原因になります。 ⊘ 禁止

●シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。

\* さびや傷・故障などの原因になります。 ⊘ 禁止

●保温容器本体は塩素系漂白剤を使用しないでください。

\* さびや保温・保冷不良の原因になります。 ⊘ 禁止

●保温容器本体の外側は漂白剤を使用しないでください。

\* 塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。 ⊘ 禁止

●保温容器本体は水中に放置しないでください。

\* すきまに水が浸入してさびや保温・保冷不良などの原因になります。 ⊘ 禁止

●保温容器本体は食器洗浄機・食器乾燥機を使用しないでください。

\* 塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。 ⊘ 禁止



# こんなときは・・・

分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
保温が効かない	熱いごはん・スープ類を入れていない	ごはん容器とスープ容器には、熱いものを入れてください。ぬるい場合は、電子レンジで加熱すると効果的です。(電子レンジで加熱する場合は、必ずフタをはずしてください。)また、あらかじめ予熱すると保温に効果的です。【☞P.2】
	入れる量が少ない	食品の量を増やしてください。
	スープ類を入れていない	スープ類を入れずに使用すると、保温効果が十分にでないことがあります。スープ類を必要としない場合でも、スープ容器に熱湯を入れると効果的です。
スープ容器から漏れた	フタを確実に閉めていない	フタは確実に閉めてください。
	スープ類を入れすぎている	スープ類の量は8分目までにしてください。【☞P.2③】
	パッキンやベンがはずれている・確実に取り付けられていない	正しい位置に確実に取り付けてください。【☞P.3】
	パッキンやベンが消耗している	別売の「パッキンセット」をお買い求めください。【☞P.10】
保温容器内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を使用してください。【☞P.7】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。ぬるま湯で10%程度に薄めた食酢を保温容器に入れ、約30分後によく洗ってください。
内容器が変色した・異臭がする	汚れが付着している	きれいに洗い、十分に乾燥させてください。汚れや臭いが取れない場合は漂白剤を使用してください。【☞P.7】
パッキン・ベン・フタリングが変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤を使用してください。【☞P.7】 汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の交換用部品をお買い求めください。【☞P.10】
フタが閉まらない	容器が破損・消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。【☞P.10】
食品が腐敗した	長時間保存している	できるだけ早く(6時間以内)一度にお召し上がりください。
	生もの・乳製品などを入れている	生もの・乳製品など変質や腐敗しやすい食品は入れないでください。
	あたたかいおかずをおかず容器に入れている	おかずを十分に冷ましてからおかず容器のフタをしてください。
スープ類を入れた状態でフタが開かない	閉めすぎ・スープ類の腐敗	容器を縦置きにしてオープナーなどの専用の道具を使って開けてください。開かない場合はサーモスお客様相談室にご相談ください。【☞P.10】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合はサーモスお客様相談室にご相談ください。【☞P.10】

# 交換用部品のご案内

■本製品の各部品は、下表の交換用部品名で別売しています。

◆内容器・パッキン・ベンは消耗品です。1年を目安にご確認いただき、表面にザラつきや損傷がある場合は、交換してください。

各部のなまえ	交換用部品名
おかず容器セット	JBCおかず容器セット*
ごはん容器セット	JBCごはん容器セット* (フタリング付き)
スープ容器セット	JBCスープ容器セット* (パッキンセット付き)
ハシ・ハシケース	DBQ-250ハシ・ハシケースセット
フタリング	JBCフタリング
パッキンセット	JBCパッキンセット (パッキン・ベン各1個)
バッグ	JBC-801バッグ

\*…本体・フタ各1個

## 【交換用部品のお求め方法】

品番・色名・交換用部品名をご確認の上、下記方法でお求めください。  
(品番・色名は、製品の底面に貼ってあるシールに記載されています。)

### ①サーモスオンラインショップ(交換用部品販売)

[https://www.shopthermos.jp/shop/goods/p\\_search.aspx](https://www.shopthermos.jp/shop/goods/p_search.aspx)

上記アドレスからお求めください。(取り扱い部品が限られておりますが、ご了承ください。)

②販売店 ……………サーモス製品を取り扱っている販売店にご相談ください。

③サーモスお客様相談室…お電話でお申し込みください。

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じたときや製品に関するご不明な点・ご質問などがございましたら、下記お客様相談室までお問い合わせください。

## サーモスお客様相談室



ナビダイヤル® ※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

# 0570-066966

ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ 0256-92-6696

受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

〒959-0215 新潟県燕市吉田下中野1435番地 **サーモス株式会社** お客様相談室

個人情報保護方針についてはこちら

<https://www.thermos.jp/privacypolicy.html>

お問い合わせ内容によっては、お客様の個人情報をお預かりする場合がございます。詳しくは上記アドレスをご覧ください。

よくあるお問い合わせはこちら

<https://www.thermos.jp/support/faq/>

サーモス製品に関する、よくあるお問い合わせについてホームページでご紹介しています。上記アドレスをご覧ください。

**ホームページアドレス <https://www.thermos.jp/>**

製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。